

様式第2号（政務活動実施報告書）

27年2月27日

井原市議会議員

宮地俊則様

井原市議会議員

大嶋二郎

下記のとおり政務活動を実施しましたので、報告します。

記

1. 実施期間	平成27年2月18日～19日
2. 研修会等の開催地 または視察、要請・ 陳情活動先	福岡県大牟田市健康所466-1
3. 研修会等の名称 または視察、要請・ 陳情活動内容	トータルケア・システム株式会社 ラフフォレスト大牟田
4. 研修会等の講師名 または視察、要請・ 陳情活動先の担当者 名	講師、 代表取締役 長武志様
5. 活動内容	①使用済紙おむつを水と分離剤により19Lフ・プラスチック・汚泥類に分離して回収し、回収したパルプは建材（防炎板）プラスチックは固定燃料へ汚泥類は肥料へ又紙おむつは再生資源化されている。 ②政府も取り組んでいる地球温暖化削減の基となるCO2排出量を焼却処理と比べて約40%削減する。 ③自治体の中へ今後この様なシステムは必要である。

1. 報告書は、政務活動終了後2週間以内に提出すること。

2. 活動内容欄のスペースが足りない場合は、任意の様式により活動内容を取りまとめ、活動内容欄へは、「別添のとおり」と記載すること。



様式第2号（政務活動実施報告書）

平成 27 年 3 月 4 日

井原市議会議長

宮 地 俊 則 様

井原市議会議員

宮 地 俊 則

下記のとおり政務活動を実施しましたので、報告します。

記

1. 実 施 期 間	平成27年2月18日（水）～平成27年2月19日（木）
2. 研修会等の開催地 または視察、要請・ 陳情活動先	福岡県大牟田市健老町 466 番 1 大牟田エコタウン ラブフォレスト大牟田
3. 研修会等の名称 または視察、要請・ 陳情活動内容	環境にやさしい紙おむつリサイクルシステム
4 研修会等の講師名 視察、要請・陳情活 動先の担当者名	トータルケア・システム株式会社 代表取締役 長 武志 営業企画課長 嘉副 人文
5. 活 動 内 容	別添のとおり

1. 報告書は、政務活動終了後2週間以内に提出すること。

2. 活動内容欄のスペースが足りない場合は、任意の様式により活動内容を取りまとめ、活動内容欄へは、「別添のとおり」と記載すること。



環境にやさしい紙おむつリサイクルシステム

福岡県大牟田市の大牟田エコタウン内にある紙おむつリサイクル施設『ラブフォレスト大牟田』を視察させていただきました。

医療・福祉・介護の現場から出される使用済み紙おむつを、ゴミではなく資源として、焼却処理ではなく水溶化処理によって、リサイクルする新しいプラントシステムで、「分別回収システム」「水溶化処理システム」「再資源化システム」が一体となって機能していることが大きな特徴です。

水溶化処理により、使用済み紙おむつを水と分離剤でパルプ、プラスチック、汚泥類に分離して回収し、回収したパルプは建材に、プラスチックは RPF（固形燃料）に、汚泥類は土壌改良剤に、それぞれ再資源化されます。

さらに特筆すべきは、この処理システムにより焼却処理に比べ、CO₂ 排出量を約 40 %削減できることです。

子供用紙おむつの生産枚数は横ばいですが、大人用は急増しており、合計で 2015 年には 172 億枚生産されています。

目標は『紙おむつ to 紙おむつ』すなわち、紙おむつから紙おむつを生み出す資源循環システムの確立だそうです。

使用済み紙おむつは『汚いもの』との先入観から燃やしてしまおう！との思いになりがちですが、これだけの貴重なパルプ資源を焼却してしまうことこそが大きなムダであるとの思いに至りました。

増え続ける紙おむつを有効に再利用することこそが我々の使命ではないかと思えます。

このシステムを成功させるためには、全国の自治体が必要性をしっかり認識し、回収システムを確立させることが第一歩である。

さらには国・県が主導していけば、低コストで有用性はさらに高まるものと思う。

様式第2号（政務活動実施報告書）

平成27年 2月27 日

井原市議会議長
宮 地 俊 則 様

井原市議会議員 井 口 勇

下記のとおり政務活動を実施しましたので、報告します。

記

1. 実 施 期 間	平成27年2月18日（水）～2月19日（木）
2. 研修会等の開催地 または視察、要請・ 陳情活動先	福岡県大牟田市健老町466番1 大牟田エコタウン ラブフォレスト大牟田
3. 研修会等の名称 または視察、要請・ 陳情活動内容	環境にやさしい紙おむつリサイクルシステム
4. 研修会等の講師名 または視察、要請・ 陳情活動先の担当者 名	代表取締役 長 武志 営業企画課長 嘉副 人文
5. 活 動 内 容	別紙に記載

1. 報告書は、政務活動終了後2週間以内に提出すること。
2. 活動内容欄のスペースが足りない場合は、任意の様式により活動内容を取りまとめ、活動内容欄へは、「別添のとおり」と記載すること。

別紙

医療・福祉・介護の現場から出される使用済み紙おむつを、ゴミではなく資源として焼却処理ではなく、水溶化処理によってリサイクルする新しいプラントシステム。

「分別回収システム」「水溶化システム」「再資源化システム」が一体となって機能するシステムで、「温室効果ガス削減」と「環境負荷の低減」に大きく貢献している。

全国初の水溶化システムで、使用済み紙おむつを水と分離剤によってパルプ、プラスチック汚泥類に分離して回収し、回収したパルプは建材に、プラスチックは固形燃料に、汚泥類は土壌改良剤に再資源化している。

焼却処理に比べCO₂排出量を焼く40%削減できるとのこと。

現在は産業廃棄物が中心で日量20t紙おむつ役10万枚処理しているが、福岡圏域自治体で検討委員会を立ち上げ一般家庭用も検討中とのこと。目標は安定供給することで再生紙おむつを作ること。

今後紙おむつの使用は年々増加するなか大変参考になった。

27 年 3 月 3 日

井原市議会議長

宮地俊則 様

井原市議会議員

藤原清和

下記のとおり政務活動を実施しましたので、報告します。

記

1. 実施期間	平成27年2月18日(水)～19日(木)
2. 研修会等の開催地 または視察、要請・ 陳情活動先	福岡県大牟田市博老町 466-1 大牟田エコタウン(内) 紙おむつリサイクル施設フオレスト大牟田
3. 研修会等の名称 または視察、要請・ 陳情活動内容	医療・福祉・介護の現場から使われる使用済み 紙おむつを、ゴミではなく資源として、リサイクルする 新しいフオレストシステムの研修。
4. 研修会等の講師名 または視察、要請・ 陳情活動先の担当者 名	代表取締役、長 武志氏、トータルケアシステム(株) 営業企画課長、嘉副人文化
5. 活動内容	・全国初の水溶化処理システムの研修。 ・この水溶化処理システムは、使用済み紙おむつを、 水と分離剤により、100%フオレスト、汚泥類に分離 して回収し、回収した100%は建材に、 フオレストは RDF(固形燃料)に、汚泥類は、 土壌改良剤に、それぞれ再資源化している。 焼却処理にしろへて、CO₂の排出量を約40% 削減する効果が生まれる。

1. 報告書は、政務活動終了後2週間以内に提出すること。

2. 活動内容欄のスペースが足りない場合は、任意の様式により活動内容を取りまとめ、活動内容欄へは、「別添のとおり」と記載すること。

